

No. 1401
2014年1月27日

機能性タンパク質シルクエラスチンを用いた新規医療材料の開発が
「JST研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）」に採択
傷の治療に効果的なシルクエラスチンを医療用途に展開

三洋化成工業株式会社
(証券コード：4471)

三洋化成工業株式会社（本社：京都市東山区、社長：安藤孝夫）と京都大学大学院形成外科学 河合勝也准教授による「機能性タンパク質シルクエラスチンを用いた新規医療材料の開発」が独立行政法人科学技術振興機構（JST）の研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）「フィージビリティスタディ（FS）ステージ シーズ顕在化タイプ」に採択されましたので、ご報告申し上げます。

当社は、シルクエラスチンの特長を生かし、創傷治療剤などへの展開を進め、バイオ・メディカル事業の拡大を図ります。

褥瘡（床ずれ）をはじめとする難治性皮膚潰瘍の治療方法には、外科的治療（皮膚移植等）と保存的治療（創傷被覆材や外用剤の使用等）があります。通常の治療戦略は、先ず保存的治療を施し、治療が困難な場合に外科的治療を施していきます。

シルクエラスチンの創傷治療への展開は、これまで外科的治療を施さなければならなかった創傷に対して、保存的治療のみによる治癒やその後の外科的治療の成績向上の可能性を秘めており、患者の心理的・身体的・経済的負担を軽減できるものと考えております。

本研究プログラム（2014年2月～2015年1月）では、従来の創傷治療剤との比較・併用検討、増産技術の確立及び臨床治験に向けた生物学的安全性試験の開始を計画しております。

A-STEPは、国民経済上重要な科学技術に関する大学・公的研究機関などで生まれた研究成果をもとにした実用化を目指すための研究開発フェーズを対象とする技術移転支援プログラムです。

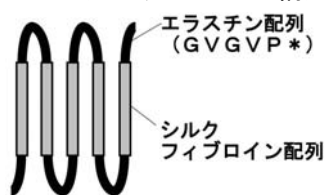
事業名：平成25年度 研究成果最適展開支援プログラム シーズ顕在化タイプ
課題名：機能性タンパク質シルクエラスチンを用いた新規医療材料の開発
研究者：三洋化成工業株式会社
国立大学法人京都大学

【シルクエラスチン】

シルクエラスチンは、天然由来のタンパク質であるエラスチン*1)とシルクフィブロイン*2)を模倣し、遺伝子組み換え技術によって作製された人工タンパク質です。シルクエラスチンの特長として、分子内にエラスチン配列を多く含むため、細胞親和性（炎症を起こさずに皮膚になじむ特性）が高く、かつ、弾性（皮膚にハリを与える特性）に富むことから、ひきつれを起こしにくく、創傷治療剤などに適しています。

*1)皮膚を構成するタンパク、 *2)シルク（絹）を構成するタンパク

●シルクエラスチンの構造



* G V G V P はアミノ酸配列であり、G : グリシン、V : バリン、P : プロリンです。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

三洋化成工業株式会社 広報部

電話 075-541-4312